

文学

三鷹

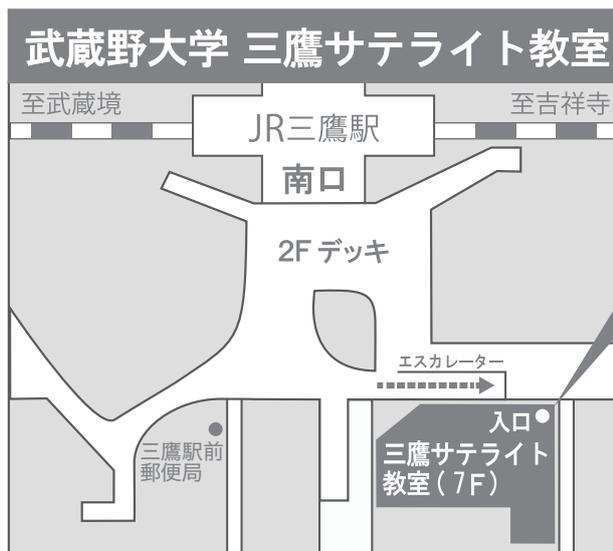
0401013

『今昔物語集』巻第二十九「悪行譚」を読む

— 『羅生門』の原話をはじめとして —

| | | | | | |
|--------------|--|------------------|----|------------------------------------|-----|
| 受講料 (振込額) | 10,000円 | | | | |
| 必携テキスト | 『今昔物語集 本朝部下』岩波文庫 1,452円 | | | | |
| 講座概要 | 曜日 | 木曜日 | | 日程 4月21日 5月19日 6月2・16・30日 | |
| | 時間 | 15:00～16:30 | | | |
| | 回数 | 全5回 | 定員 | | 20名 |
| | 開講場所 | 三鷹サテライト教室 7F 大教室 | | | |
| 講師 | 大正大学非常勤講師 鈴木 治子 (すずき はるこ) | | | | |
| | 武蔵野女子大学日本文学科卒業。大正大学大学院博士課程国文学専攻単位取得。東京都・埼玉県の区民・市民講座講師、NHK文化センター講師、大正大学オープンカレッジ講師、獨協大学オープンカレッジ講師を務める。 〈著書〉『歌謡文学を学ぶ人のために』(共著、世界思想社) 『中世文学の展開と仏教』(共著、おうふう) 『海東高僧伝』(共著)、『東アジアの仏伝文学』(共著) | | | | |
| 内容 | 前回に引き続き、『今昔物語集』巻二十九の「悪行譚」を読んでいます。今回扱う部分には、大盗賊袴垂(はかまだれ)の話、芥川龍之介の『羅生門』や『藪の中』の原話など、有名な話が並んでいます。 平安時代は華やかな貴族文化に彩られた時代であるとともに、底辺では数々の悪行が横行した時代もありました。雅な王朝文学が時代の「光」を描いているとすると、巻二十九はいわば「闇」の部分を描いた説話群を集めた巻です。本巻に収録されている「悪行譚」を通じて平安時代の凄絶な暗黒世界を垣間見ることができます。光と闇、双方の世界に注目してこそ、その時代が見えてくるのではないのでしょうか。世の中に起こった想像を絶する出来事を生き生きと描き、人間世界の一端を映し出そうとするところが『今昔物語集』ならではの大きな魅力です。 盗賊たちが繰り広げる奇怪で残忍、時に滑稽な出来事を秀逸な筆致で描いた各話を丁寧に読み解きながら、ミステリードラマのような面白さをともに味わってまいりましょう。 | | | | |
| | ① 4月21日：第14話 姦婦の夫殺し ② 5月19日：第17話 鐘盗人の完全犯罪 ③ 6月2日：第18話 羅城門の盗人 — 『羅生門』の原話 — ④ 6月16日：第19話 大盗賊袴垂(はかまだれ) ⑤ 6月30日：第23話 大江山の暴行事件 — 『藪の中』の原話 — | | | | |

武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・「受講の手引き」「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのお願い」を必ずお読みの上、ご参加ください。